

(注意点)

基本構想策定委員会側委員の発言は、策定委員会及び各部会でこれまで積み重ねた議論に基づく委員個人の見解であり、最終的な素案は策定委員会で協議の上、決定される予定です。

第2回 市民文化ホール建設基本構想（素案）に係る小委員会 議事録

平成22年6月4日 10:00～ 本庁5階第1委員会室

(□策定委員会側委員 ■議会側委員)

○前回の協議での補足説明について

：前回、用地取得に関して、市として強制力を行使することもあるのかという質問があり、そのようなことも考えているという内容の発言をした。

これは一般的な事象として、事務的にはこのような制度があるという考えである。しかし、市制10周年を記念して建設を計画している事業については、市の姿勢としては、できるだけ関係者の方々の理解を得る努力を求められると思っている。

意見概要について

委員長：意見概要について公開、またホームページに掲載するかどうか。

事務局：意見の要約でどうか。

→意義なし、ホームページで公開する。

土地利用・まちづくりと市民文化ホール建設について

概要説明（徳永 基本構想策定委員会第1部会長）

：人口10万人とあるが、現在は9万4千人で、合併後2千人減少している。2030年には7万人台、2050年には5万人台と人口予想されている。高齢者の増や国民年金を掛けられない若者が増えており、夢を膨らましても実現できるのか疑問である。

JR駅の統合について、以前、旧市境へ無人駅を設置できないかJRへ相談したが、その場合でもJRは1億円の負担が必要であると回答があった。駅移転は夢のある話でインパクトはあるが、高速道路無料化などの流れの中でコスト削減中の同社にとっては負担になり新駅設置は困難では。三島、川之江駅には店舗もあり、駅の場所を変えるのは不可能ではないか。夢を持つのは大切であるとは理解している。

絵を描かなければならないが、責任を誰が取るのか。これまで行政は責任を取ってこなかった。身の丈に応じた施設とすべきである。

：（委員の意見に対し）市民文化ホールは必要ないということか。的を外した意見である。

：建設には反対ではない。

- : (委員の意見は) 慎重論であると受け止めている。
文化ホールが必要だからというのではなく、プレイスマーケティングを基に、身の丈にあったものという提案に感銘を受けた。どのような施設が誘導されてくるのか。
- : プレイスマーケティングの手法を取り入れるまで、商業機能と関連する考えはなかなか出てこなかった。現駅付近にホールを建設することも考えたが、新ホール建設で新しい商業施設を誘発できるのではと考えた。また 3 つの IC を生かす考え方から霧の森、新ホール、ユーホールが連携できるのでは。プレイスマーケティングでいろいろな考え方を与えられた。
- : プレイスマーケティングは狭いエリアについて考察していると考えていた。広いエリアを考えていると分かった。既存の商店街がますます寂れるのが予想されるが、まちづくりの観点からどう考えるのか。
- : 新しい施設に商業施設が立地すると既存の商業活動は影響を受けると考える。今後の課題である。
- : イルミネーションの時もそうだったが、行政主導で商業活動の中心地を誘導するのはどうか。既存商業施設と共栄するやさしい表現があればいいのだが。
- : 商店街の衰退は全国的な問題であり、駅前商店街の方々が新ホール付近で商業活動ができるものを考えている。
- : サンポート高松、都城市のホールを視察したが、商業施設は機能していない。高知のカルポートも商業施設を誘発できていない。工夫が必要である。また表現については、今後検討する。
- : (■委員の説明に対し) 事前に資料を読んでいるので、要約して説明してほしい。
- : <素案を基に 6 つの条件について説明>
- : 文化ホール建設に反対ではない。建設場所の問題が一番大切である。候補地を絞り込むと建設地が限られてくるのではないか。
- : 候補地は協議したが示してはいない。まちづくりに役立つもの、市民の意識を高めるものと考えた。素案に示しているものは 6 つの立地条件から表現したものである。立地条件は 6 つ以外にもあると思う。素案については交通の利便性の観点からの立地条件を最優先した。
- : 港周辺は土地が売却済み、IC 付近は土地代が高く候補地として難しいのではないか。利便性の高いところへ建設すべき。
総務委員会で視察したいわき市の施設は、日中は駐車場がほとんど利用されておらず用地がもったいないと聞いた。IC 付近は雨水対策が必要と聞いている。

- : 新しいホールの施設内容を考えると、現三島会館の場所では難しいのではないか。
- : 現三島会館の敷地が 1 万㎡とすると買い足さなければ困難である。三島会館に限ると、夜間の駐車場利用については市役所本庁の駐車場の共有が考えられる。
- : 三島地域の都合に関係なく、四国中央市全体で考え、川之江の住民に不満のないようにしてほしい。
- : 昭和 40 年前後に両市民会館が完成したが、現在は行政がホールを建設し、管理する時代ではないのではないか。
素案では新ホール必要性の理由が見えてこない。新居浜、観音寺両市境の市民が納得するような理由が必要である。理由が弱い。八方美人である。交通手段は車にシフトしているため、ICから大きな道路でつながっていれば、三島川之江ICから香川県境のどこでもいいということになるのではないか。
新ホールが必要な理由として地域の住民が使えることが基本ではないか。運営についても大衆演劇の座長はコストとスケジュールを厳しく管理しており、運営はこのくらい厳しく考えないといけないのではないか。(必要性の理解が得られないと) 小学校の建て替えが先ではないか。
- : 例えば新ホールの必要性について、こういう理由があるというものを教えていただければありがたい。
- : 各企業は四国支店などを持つことが難しく、四国エリアの展示会や店長会を当市で開催するなどの要望がある。
市民大学は市内企業が協賛し行なっているが、興業として成り立つ計画を基本にし、民間が使いやすい施設にしなければ。
- : 運営については次回小委員会のテーマで、次回説明する。
- : 6つの立地条件の交通利便性の観点、人材育成の観点、商業連携の観点の3条件について理解した。しかし、第2条件、第3条件をもう少し補足してほしい。
- : スポーツの人材育成の成功例から、文化ホールを拠点に人材育成という考えとなった。中央の芸術大学へ輩出する地域になるのもいいのでは。また身近に世界レベルのピアノなどに接することのできる場となればいいのでは。
商業施設の問題については迷う部分であり、(既存の商店街の振興についての) 議論は出てくるものと考えるが、フォローがいるのは間違いないが、策定委員会としては結論がでなかった。市長に依頼しなければならない。
- : 6つの立地条件からICが有力であると考え。新ホールは四国全体がタ

ーゲットではない。当市民の施設ではないのか。もし四国全体がターゲットなら外から負担を求めるべきという意見も出てくるのでは。

現在の人口分布、人口比重がどうなのかデータが必要である。

IC付近と決定付けるための人の移動効率、説得性が必要である。

: 10年以上前の話になるが、三島地域は人口が中曽根へ移っていた。

: 人口分布、比重等のデータは可能であれば次回用意して欲しい。

: 基本構想素案について、よくまとめていただいているが、どうしてもこの施設が必要なのか説得力に欠ける。説得する要素が必要である。

: 人口減少を地域の衰退に結び付けないために、この施設がある。

交流人口で維持しなければ。四国内の交流人口は少ない。県都以外への交流を生むのは四国中央市しかない。

人口減少については総合計画に記載されていたので基本構想素案には記述しなかった。今後は少し記述を加えたい。

: 素案の記述については市民主体の表現にすべきでは。市外の人を巻き込んだ利用ではなく、市民中心の利用。

: 次回説明するが、市民目線が必要と考え、市民の利用について書いている。

候補地については多くの候補から検討したことを見せる必要がある。市民感情から、旧市境が住民が納得するベースラインと踏まえた上での書き方である。

: 合併時に庁舎の位置はICから警察署までの間と決まった。庁舎を建設しない代わりに市民文化ホールを建設という経緯がある。IC付近という表現は、現本庁舎から川之江庁舎までの間と考えている。

: その他の候補地について策定委員会で評価してくれるのか。

: 可能であるが、エリアまでしか出せない。地図に円で示すことは可能である。

: 場所選定の策定委員会と思われかねない。用地選定は別の委員会で審議してもらいたい。

閉 会